



## 綾南中学校のフィナーレを飾り、そして綾川中学校開校に備える2か月半

### さらに素晴らしい学校にするために ～ 始業式式辞より ～

1月11日(火)、第3学期の始業式を行いました。綾南中学校閉校、綾川中学校開校まであと2か月半となる中、残された統合までの日々において、綾南中学校のよさに更に磨きをかけ、よき伝統を継承したい。そんな思いで以下のような式辞を述べました。

(前略) 私は、この2か月間で、綾南中学校をもっともっと「いい学校」にして、綾川中学校の開校を迎えたいと考えています。では、いい学校とはどんな学校でしょう。様々な考え方や視点がありますが、私が他校を訪問したときに、瞬時にいい学校だと感じるのは次の場面です。

#### ① 校内がきれいであること。

これは、学校に入った瞬間にわかります。教室に入った瞬間にわかります。トイレに行くときわかります。きれいにもいろいろあります。掃除がすみずみまでできている、ごみが落ちていない、教室の机が縦にも横にも揃っている、ロッカーの中が整頓されている、トイレが清潔に保たれている等々。そのためにも、特に日々の清掃活動(無言)を大切にしていきたいでしょう。



【ある日の清掃風景(無言)】

#### ② 姿勢(話の聞き方)が美しいこと

これはみなさんの授業や集会での話の聞き方のことです。全員の目が、話し手に集まっている、黒板に集中している。これは、姿勢が美しいということだけでなく、よく聞いていることの証でもあります。だからこそ、学習内容が正しく理解されていくのです。



【ある日の集会風景(目線)】

#### ③ 爽やかな挨拶ができること

友達同士はもちろん、お客さんや先生方に対して、自然な挨拶ができること。爽やかな挨拶はとても気持ちがいいものです。思わず心安らぎ笑顔になります。

これら3つのことは、日頃からみなさんが大切にしていることです。そのことを踏まえると綾南中学校はとてもいい学校ということになります。



【ある日の挨拶運動風景(元気)】

今後更に…という視点で一つお願いします。それは、挨拶により一層磨きをかけてほしいということです。

挨拶の「挨」という漢字には、「相手に心を開いて接する」という意味があります。挨拶の「拶」という漢字には、「相手に迫る」という意味があります。3年生は、これから高校生活や社会で新たな出会いの連続となります。1・2年生は、これから新入生を迎えるとともに、綾上中学校の生徒と一緒に学校生活を送ることになります。みなさんは、今後の人生において、相手に心を開き、相手を認める第一歩となる挨拶の大切さを実感することでしょう。

では、挨拶をする際のポイントは何でしょうか?その頭文字(あ・い・き・つ)に関連して次の通りです。「あ」は明るく、「い」はいつでも、「き」は(相手より)先に、「つ」は続ける、です。すなわち、挨拶を「相手に聞こえるように明るく」「朝、昼、夕方、いつでも」「相手より先に率先して」「習慣になるまで続ける」ことが大切です。いい挨拶習慣を身に付けて、より一層爽やかな学校にしてほしいと思います。(後略)

綾南中学校の閉校に向けて、きれいな学校を保つための清掃、正しく話を聞くための姿勢、そして爽やかな本物の挨拶を綾南中学校の誇れる文化として、綾川中学校に受け継ぐという高い志をもてるよう子どもたちに働きかけを続けていきたいと考えています。